

## 中学校第2学年 美術科 学びのマップ

日時：2018年5月22日（火）2校時  
 場所：琉球大学教育学部本棟105教室  
 授業者：永津 禎三

### 【単元名】「紙彫刻」をつくろう

#### 【授業で働かせる見方・考え方】

中学校美術科における見方・考え方：感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。

#### 【授業のねらい～めざす生徒の姿～】

主体的な学び	作品づくりに積極的に取り組み、身近にあるものを使って何かをつくりだそうとする意欲を持つことができる。
対話的な学び	・自ら作った形を置き換えたり、作り替えたりすることで、作品（もの）との造形的な対話を行うことができる。 ・自分の作品に友達がどのように手を加えたかを見取することで、他者の発想を楽しんだり他者の造形から学んだりして、自分の発想を広げ柔軟な造形性を身につけることができる。
深い学び	彫刻の概念（造形性や歴史も含み）を拓げ、身近にある美術作品（彫刻等）に興味を持ち、自ら調べ、その造形の面白さ・美しさや意味を考えることができる。

#### 【単元計画】

第1時（本時）	飲み終えたジュースの紙パックで紙彫刻をつくり、綺麗に見える三方向から写真撮影する。次に、その作品の置き方（立ち方）を変え三方向から写真撮影する。 作品は教室の後ろのコーナーに飾っておき、次の授業までいつでも観られるようにしておく。
第2時	ピカソ「ギターのマケット」を題材に「対話による鑑賞」を行う。おそらく、前時に制作した紙彫刻との関連が話されると思われる。これをきっかけとして、非モニュメンタルな彫刻の系譜（アンソニー・カロ等）をスライド等で紹介する。 前時に制作した作品を、ペアの友達と交換して友達の作品に手を加え、また新しい作品に作り替える。これをそれぞれが三方向から写真撮影する。 作品は教室の後ろのコーナーに飾っておき、次の授業までいつでも観られるようにしておく。
第3時	前時に友達が作り替えた作品を、今度は自分でまた手を加え新しい作品にする（三方向から写真撮影する）。各自、三段階の過程で撮影した写真を整理してiPadで観られるようにし、これと作品と一緒に展示し、クラス全体で鑑賞する。自分の三段階の作品についての短い解説と本単元全体から考えた事を文章にする。

#### 【本時の流れ】

	生徒の学習活動	形態	教師の支援、留意点	ねらいとの関連
導入 (5分)	①本時のおおまかな流れと、紙彫刻づくりのルールについて知る。 ②紙パック、はさみを準備する。	全体 個人	・紙パックを切り外さない等のルールを説明。	
展開 (40分)	③紙彫刻をつくる。(20分) 出来た作品を写真撮影。(5分) ④別の置き方をする。(10分) その写真撮影(5分)	個人 個人	・写真撮影は、備品のiPadで、綺麗に見える3方向を各自が選び撮影する。	→主体的な学び →対話的な学び
終末 (5分)	⑤片付け ⑥作品保管についての説明	全体 全体	・教室のコーナーにある他の人の作品もよく観ておくよう伝える。	